

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成29年10月19日(2017.10.19)

【公開番号】特開2016-193381(P2016-193381A)

【公開日】平成28年11月17日(2016.11.17)

【年通号数】公開・登録公報2016-064

【出願番号】特願2016-166334(P2016-166334)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年9月6日(2017.9.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

始動条件の成立に基づいて所定の図柄を変動表示する表示手段と、
前記表示手段による図柄の変動表示に係わって発生させる図柄変動音を制御する音制御手段と、

前記表示手段に所定の当り図柄が表示されると遊技者にとって有利な特別遊技を発生させる特別遊技発生手段と

を備えた遊技機であって、

前記音制御手段は、

前記図柄変動音を、1つの前記変動表示が行われる毎に繰り返し使用される繰り返し音楽として発生させることができ、

前記図柄変動音を、複数の前記変動表示に跨がって共通する第1共通音楽として発生させることができ、

所定条件が成立した場合には、前記図柄変動音を、前記繰り返し音楽が繰り返し使用されることに替えて前記第1共通音楽とは異なる第2共通音楽を所定期間発生させることができ、

前記第2共通音楽は、

1つの前記変動表示において、前記図柄変動音として、複数の擬似的な変動表示に跨がって発生させるものであること

を特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

このような問題を解決するために、本発明の遊技機は、請求項1に記載したように、始動条件の成立に基づいて所定の図柄を変動表示する表示手段(第1特別図柄表示装置120、第2特別図柄表示装置122、メイン表示装置131)と、前記表示手段による図柄

の変動表示に係わって発生させる図柄変動音を制御する音制御手段（演出制御基板 340、画像制御基板 350、音声出力装置 132）と、前記表示手段に所定の当り図柄が表示されると遊技者にとって有利な特別遊技を発生させる特別遊技発生手段（ステップ S450 の大入賞装置処理）とを備えた遊技機（遊技機 100）であって、前記音制御手段は、前記図柄変動音を、1つの前記変動表示が行われる毎に繰り返し使用される繰り返し音楽として発生させること（図 25, 図 33）ができ、前記図柄変動音を、複数の前記変動表示に跨がって共通する第1共通音楽として発生させること（図 25）ができ、所定条件が成立した場合には、前記図柄変動音を、前記繰り返し音楽が繰り返し使用されることに替えて前記第1共通音楽とは異なる第2共通音楽を所定期間発生させること（図 33）が可能であり、前記第2共通音楽は、1つの前記変動表示において、前記図柄変動音として、複数の擬似的な変動表示に跨がって発生させるものであることを要旨とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】